

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-15 観光振興事業					ザイムスコード及び個別事業名		
	主管課	観光課		関連課			386	観光振興支援事業
分野名	観光					387	観光振興支援事業	
目標 (目標値)	観光振興に関する観光客及び市民の満足度を高める。平成22年度までに観光客80%、市民90%が目標数値。入込観光客数を現状値(17年の1840万人)以上とする。					388	広報宣伝事業	
						389	広報宣伝事業	
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		396	観光協会支援事業	
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳) ・観光客数は暦年		1162	観光案内所運営事業	
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
観光客数	18,833,713人	19,344,470人						
運営資源 状況	決算値	77,355千円	69,693千円			指標と評価		
	(国・県)	873千円				指標	HPの1日あたりのアクセス件数	
	(負担金等)	6千円	9千円			評価	◎	
	(一般財源)	76,476千円	69,684千円			◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	1.4人	1.4人				目標値	実績値
	人件費	13,672千円	13,617千円			20年度	1,000	3,553
	協働の パートナー	観光協会、商工会議所 ほか	観光協会、商工会議所 ほか			21年度	1,000	3,844
事務事業 運営経費	総事業費	91,027千円	83,310千円			22年度	1,000	
	市民1人当りの経費	515円	472円			23年度	1,000	
	対象者1人当りの経費	4.8円	4.3円			最終年度 (年度)	1,000	
ベンチマーク (県内外自治体や民間 団体との比較値)	団体名	横浜	藤沢	箱根	京都	鎌倉		
	観光客数	54,280,941	13,864,129	19,649,000	50,210,000	18,833,713		
	宿泊数	4,907,486	362,761	4,525,157	13,061,000	324,769		
	宿泊率	9.0%	2.6%	23.0%	26.0%	1.7%		
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・主要観光行事などの観光情報は、行政や観光協会など、複数のホームページで提供しているため、利用者に必要な情報が得難くなっている。 ・多くの市民に鎌倉の観光振興への取組みを理解してもらうためには、継続的な取組みが必要である。						
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・観光情報の情報発信については、観光振興推進本部の中に設置している、市、観光協会、商工会議所の担当者レベルで構成する「ワーキンググループ」で、官・民それぞれが発信している情報の共有化や、発信方法の充実等についての検討をしている。 ・市民に鎌倉市の観光振興の取組みを理解してもらうため、観光振興シンポジウムを開催した。						
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・観光協会のホームページの変更計画に合わせ、様々な鎌倉の情報発信の主体となる団体と打合せを行い、観光客等が情報収集しやすくなる仕組みの検討を行ったが、結論には至らなかった。						
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・今後も早期に確立できるよう情報発信の方法や役割分担について引き続き検討していく。						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	観光振興の取組みを市民に理解してもらうように情報提供を行うとともに、観光客等のニーズにあった情報提供を行っていきたい。			評価結果	改善の必要性	市と民間の役割を明確にしつつ、情報収集や観光情報を充実させ、鎌倉のさらなる魅力を発信する。	
A	有				A	有		
課長名		鶴見 俊之			部名・部長名		市民経済部・小磯 一彦	